

大津皇子の薨りましし後に、大伯皇女の伊勢の斎宮より京に上りし時に作りませる歌二首					
神風乃	伊勢能國尔母	有益乎	奈何可来計武	君毛不有尔	万葉集 卷二 163 大伯皇女
神風の	伊勢の国にも	あらましを	何しか来けむ	君もあらなくに	
かむかぜの	いせのくににも	あらましを	なにしかきけむ	きみもあらなくに	
神風の吹く	伊勢の国に	いたほうがよかった	何をしに来たのか	君はもういないのに	